

北陸新幹線の早期建設を求める緊急決議

北陸新幹線は、首都圏と関西圏の均衡を図り、都市と地方の資源の循環を促す重要な国家プロジェクトである。また、関西国際空港、阪神港の活性化など、アジアに開かれた関西圏の発展に欠かすことのできない社会基盤である。

本年6月、近畿ブロック知事会では、関西で優先的に整備すべきインフラを「広域インフラグランドデザイン」として取りまとめ、近畿ブロックの総意として公表した。北陸新幹線はその重要な柱の一つとして位置付けられている。

しかし、平成22年度政府予算概算要求では、北陸新幹線の金沢（白山総合車両基地）以西の新規着工予算が盛り込まれず、さらに、政府は、国と地方が長い時間をかけて合意に達した金沢・福井間と敦賀駅部の新規着工を白紙とし、その整備のあり方を今後の検討課題とした。

北陸新幹線は大阪まで開通してはじめてその機能を発揮する路線である。関西への延伸が先送りされれば、首都圏への資源の集中が加速することは明らかであり、今回の政府の決定は関西を窮地に追い込むものである。

近畿ブロック知事会は、こうした事態を憂慮し、認可申請されている敦賀までの早期着工と大阪までの一日も早い整備を政府に対し強く求める。

平成21年11月4日

近畿ブロック知事会

福井県知事	西川 一誠
三重県知事	野呂 昭彦
滋賀県知事	嘉田由紀子
京都府知事	山田 啓二
大阪府知事	橋下 徹
兵庫県知事	井戸 敏三
奈良県知事	荒井 正吾
和歌山県知事	仁坂 吉伸
徳島県知事	飯泉 嘉門
鳥取県知事	平井 伸治